で、町会の負担軽減のための防犯カメラを増設しては。

市民生活部長より 防犯活動に参加している方は、仕事の都合上から年配の方が多く、健康面や精神面でも負担が大きいことが大きな課題となっていることも把握しています。

犯罪抑止に防犯カメラは非常に有効であると思いますが、今後は、犯罪発生の情報分析を進めると共に市民や関係団体から集約した不審者情報やパトロール要望等を踏まえ、市民の要望に近づけるような形で防犯カメラの有効な活用を検討していきたいと考えます。

議員より 各課が持っている自主防犯活動団体から吸い上げた情報等を集約し有効に活用を。そして、市民、行政、警察によるパトロールだけでは人的、時間的にも限りがあることから、市内に絶え間ないパトロールの目を光らせるためにも、防犯カメラの設置効果についても検証していただき、今後も計画的な防犯カメラの増設を要望する。

［質問3］笹目川の山宮橋の下が通行できるようになった

議員より 笹目川の山宮橋の下が、昼夜問わず不特定多数の方が通行することが出来るようになった。夜間はとても暗く、安心して利用できる状況とは言い難いと思う。全ての利用者が、安心して利用できるようにするためには、先ずはこの通行路に街灯、誘導灯などの設置が必要であると思う。市ではどのように考えているのか伺う。

都市整備部長より 当初、夜間の利用は、想定しておらず、一般的に照明灯や防犯灯と言われる街灯は設置されておりません。しかしながら、河川区域内にある山宮橋の下通路は、現状、街灯が無いにも関わらず、ウォーキングなど、夜間も通行できてしまう状況にありますことから、街灯設置の可能性について、関係部署と連携し、河川管理者であります埼玉県と協議を進めてまいります。

議員より 昼夜問わず不特定多数の方が通行出来るようになったことから、防犯上の観点からも街灯、誘導灯などの設置を要望する。

［質問4］町会・自治会の負担軽減策を

議員より 平成26年9月に自治会・町会の負担軽減等について一般質問をしたが再度お伺いする。各地域の町会・自治会長から市から過度な依頼が有り、まだまだ負担軽減をして欲しいと要望がある。

町会長・自治会長の中には仕事を持ちながら町会長・自治会長を務めている方がいます。平日に開催する会議に休暇を取って参加している方、仕事を一度中断して参加する人もいます。町会長・自治会長等が参加される会議等について、更なる負担軽減など出来ないか、お伺いします。

市民生活部長より 本来の町会・自治会の活動に加え、市やほかの団体などからの協力の依頼も増加していることから、負担は大きくなっていると認識しております。こうした現状を踏まえ、市といたしましても町会連合会と連携しながら負担の軽減に向け対策を進めているところです。町会長・自治会長の中には、仕事を持ちながら町会長・自治会長を務めている方もおり、平日に開催する会議に休暇を取って参加している方がいらっしゃることは、市としても把握しております。

会議の開催に当たっては、先ほどの答弁にありましたとおり、町会長・自治会長のスケジュール管理を行っておりますことから、このスケジュール表をより一層活用し、参加する町会長・自治会長の事情に配慮した時間での開催を行うように、各部署及び外郭団体等に対して働きかけてまいります。

議員より 町会長・自治会長が負担なく会議に参加できる工夫として、例えば、会議を開催しない曜日を予め全庁挙げて決めておくことなど出来ないものか?

市民生活部長より 議員のおっしゃるとおり、各部署において、町会・自治会から会議に参加していただいていることを、改めて考え、少しでも会議に参加できるように配慮するように働きかけていきます。

また、あらかじめ会議を開催しない曜日を決めることにつきましては、町会長・自治会長の予定が立てやすくなるなどの有効な面が考えられますことから、町会連合会の意見を聞きながら、関係する各課において調整するなど、検討してまいりたい。

議員より 会議を開催しない曜日が予め決まっていれば、町会長・自治会長は地元での活動に専念が出来たりもします。

更には、町会長・自治会長のプライベートの時間を作ることも可能でありますので、是非、前向きに検討して頂けるよう要望する。

次に、各町会へ配布する資料について、チラシの量が年々増加傾向であると、何か負担軽減が出来ないものか。そこで、市として資料の送付等に係る負担軽減について、他市の先進事例を参考に何か改善策を考えてみてはと思うが如何か?

市民生活部長より 町会・自治会の取り組みとしては、他市においても、それぞれ工夫して取り組んでおり、画期的な取り組みやユニークな取り組みを行っている自治会等もあるのではないかと考えます。町会連合会で実施している視察研修などの機会をとらえ、先進的な取り組みに関する情報を提供してまいります。

議員より 是非、先進的な取り組みをお願いします。それでは、掲示するポスターについて、市内パトロールをしていて町会・自治会内になる掲示板が非常に貼りづらい掲示板がある。この貼りづらいと思われる掲示板が作業的にも負担になっているのでは、そこで市は町会掲示板の場所等を把握しているのか

プチニュース

オリンピックの「レガシー（遺産）」のみちしるべとして

1940年、第二次世界大戦前に史上初めてアジアで行われる東京オリンピックが招致に成功していました。しかし日中戦争激化のため開催を返上したため『幻のオリンピック』となりました。荒川の治水も兼ねてわが市にボートコースが建設されており、大会開催返上後に完成し、それから24年後の1964年の東京オリンピックで再整備して使われました。

戸田漕艇場はわが国で唯一の人工の静水ボートコースで現在でも首都圏の代表的なコースとして、大学や実業団の艇庫があり毎年全日本選手権や学生選手権が開催されています。また市民にはボート教室・カヌー教室が開かれ、水辺のある暮らしを提供してくれており、所管は文部科学省となっています。西端は戸田競艇場となり、戸田・蕨・川口の3市で運営され、収益は各市の予算に組み入れられています。

戸田市少年少女サマーフェスティバル

2020年の東京オリンピックがどうあるべきか、さまざまな考えが交錯していますが共通な点は、レガシー（遺産）としての価値を見越した開催が望まれていることです。

今年は市制施行50周年を記念して全国市町村交流レガッタ戸田大会も開催されます。戸田ふるさと祭りの会場としても使われています。先輩方の残した遺産を賢くきめ細かく運営し、共生していきましょう。